

# 萬年青

公益社団法人 札幌東法人会 広報誌 萬年青 (おもと)



2016年11月にオープンした白石郷土館  
1 白石区複合庁舎1Fに新設した白石郷土館。  
札幌東法人会からは、昨年のチャリティの売  
り上げ金で来館者用モニターを寄贈。

2 在りし日の勇姿を思い起こさせる仙台藩白石  
城主、片倉小十郎の甲冑。(復元)  
3 仙台藩の白石城主、片倉小十郎の家臣が  
北海道を目指した威臨丸(かみりんまる)の模型。  
4 白石城のある宮城県白石市から寄贈された、  
北海道開拓事業を任命した書状。  
5 原野を切り開き開拓を進める上で、欠かせな  
かった馬。当時を再現した模型。

札幌東法人会事務局が移転しました。

新住所 004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4番35-806

番号が変わりました▶ TEL 011-802-6744 FAX 011-802-6745

63号

2017年1月  
発行：札幌東法人会

公益社団法人  
**札幌東法人会**

<http://hojinkai.zenokuhojinkai.or.jp/sapporohigashi/>

がんばろう  
日本

法人会  
消費税期限内納付  
推進運動

## 地域の はじまり物語

### 白石編

仙台藩の白石城主、片倉小十郎の家臣が明治4年11月に当時、最月寒と呼ばれていた地(現在の中央付近)に開墾のくわを入れたことに始まります。



▲嵐の中の威臨丸

#### 明治4年に始まる歴史

白石区は仙台藩の白石城主、片倉小十郎の家臣の人々が移住したことに始まります(白石城は現在の宮城県白石市に位置)。明治4年9月、北海道を目指して600余人が威臨丸(かんりんまる)と庚午丸(こうごまる)に乗り出発。途中、嵐に見舞われ、威臨丸が木古内の沖で座礁する事故に遭いながらも、そのうち67人が明治4年11月、最月寒(もつきさつづ)と呼ばれていた現在の中央付近に移住しました。

移住した彼らは真冬の寒さに耐えながら、現在の国道12号沿い(白石公園付近から白石神社までの間)に短期で住まいを完成させました。開拓使の岩村判官は、この働きぶりに感心し、彼らの郷里の名を取って「白石村」と命名しました。その後、明治5年2月中旬までに、104戸380人が移住しました。

白石村は、現在のJR白石駅と南区定山溪を結ぶ定山溪鉄道が大正7年に開業(昭和44年廃止)、東区苗穂と苫小牧市を結ぶ北海道鉄道(後の国鉄千歳線)が南郷・東札幌地区を通して大正15年に開業(昭和48年廃止)する中で、大きな発展を遂げました。昭和25年7月、白石村は札幌市に編入。札幌市が政令指定都市に移行した昭和47年4月、行政区の名としての「白石区」が誕生しました。その後、地下鉄東西線の開通や厚別副都心計画の進展などにより、著しい人口増加が続いたため、平成元年11月に分区し、厚別川の西側が現在の白石区となっています。

■本通・中央／彼らが、最初に造った道路(現在の国道12号)を中心に発展したこの地区の地名は、その道路を中心に白石神社から望月寒川までの両側の地域を「本通区」、そこから上白石(現在の菊水)までを「中央区」としたことに由来しています。

■平和通／以前は本通と呼ばれていた地域で、昭和36年に始まった白石神社区画整理事業により整備が進められました。国道12号とJR函館本線の間には、新たな道路も造られ、地域住民の話し合いにより「平和通」と名付けられました。

■南郷通／この地域は、明治15年に月寒地区から移住した岩井澤七兵衛らにより開かれました。その後の開発は、福井県、富山県、愛媛県、岩手県などの多くの県から入植した混成団により進められました。地名の由来は明らかではありませんが、本通より南部を「南郷」としたようです。

■本郷通／かつては南郷の一部で、のどかな田園地帯でしたが、昭和31年に始まった土地区画整理事業により、住宅地へと姿を変えました。当時の高田富興(たかだ・とみよ)札幌市長が「本通」と「南郷通」から1字ずつ取り、「本郷通」としたのが由来です。

■東札幌／白石に初めて造られた道路(現在の国道12号)に直角に造った横道(現在の米里行啓通)に沿って14戸の家が移転したことに始まります。その横道は、本通りに対する横通りの意味で、「横丁(町)」という愛称で呼ばれ、人々に親しまれてきました。名称が改められたのは昭和35年で、地域のさらなる発展の願いが込められ、国鉄の東札幌駅と開局間近だった東札幌郵便局の名前から、「東札幌」となりました。

■菊水・菊水上町・菊水元町／この地域は、明治19年、京都に住んでいた菊亭脩季(きくてい・ゆきすえ)公爵が約50ヘクタールの土地の払い下げを受け、菊亭農場を経営したことに始まります。当時、この地域は上白石村と呼ばれていましたが、札幌市との合併後の昭和29年に、菊亭の「菊」と豊平川の「水」にちなんで「菊水」と名付けられました。その際、豊平川沿いに上流側から「菊水西町」「菊水北町」「菊水上町」「菊水元町」となり、「菊水上町」と「菊水元町」の地名は今も残っています。

■北郷／この地域は、明治12年に岩手県の人々が現在のJR白石駅周辺に移住してきたのが始まりで、森林を伐採し、木炭を焼いて売る傍ら開墾されました。「北郷」と呼ばれるようになった由来は明らかになっていませんが、開拓当初に付いた地名で、本通より北部を「北郷」としたようです。

■川下・川北／この地域は、明治17年に信州信濃の人々が移住したのが始まりで、稲作を目的に開墾されました。厚別川の川下に当たることから、昭和7年の町村制施行後、「川下」と名付けられました。また、昭和42年に川下と北郷の間の地域が、それぞれから1文字ずつを取って「川北」として、川下と分かれしました。

■流通センター／この地域は、厚別区との分区前は「大谷地」の一部でした。「谷地」は沼地、湿地を指し、この辺りが大きな湿地帯であったことからそう呼ばれていました。JRや国道12号、南郷通、道央自動車道などの交通網を利用した道内物資の物流拠点として整備され、分区を機に「流通センター」となりました。

■栄通／この地域は、区画整理事業が終了した昭和38年、白石と豊平の境界をなす道路が通っていた地域であったことから、「界通(さかいどおり)」に、地域の繁栄の祈りを込めて「栄」の文字を当て、「栄通」と名付けられました。

■米里・東米里／この地域は、明治23年に9戸の農家が移住したことにより開墾が始まりました。ここでは、水が豊かであったことから、早くから稲作が行われ、移住の2年後には初めての収穫がありました。地名の由来もここにあり、「米が豊かに実る里」という願いを込めて「米里」と名付けられました。

札幌市白石区おもしろいWEBより抜粋



## 表紙の声

2016年11月7日(月)に新築オープンとなった白石区複合庁舎。屋上にはソーラーパネルが設置され、各フロアには白石区役所・白石保健センター・白石区民センター・白石区保育子育て支援センター・絵本図書館・白石郷土館など多様な施設が集まった複合庁舎となっています。地下鉄東西線「白石駅」直結の好立地に地域の行政サービスの窓口が勢揃い。利便性が高まるだけではなく、無料貸出しホール「まちづくりイベント広場」も備え、文化芸術、展示の他、ミニコンサートや、様々なイベントに活用される予定で、地域のふれあいの場として様々な活用が期待されます。ペピーカーや車いすでの来庁も快適になるように、バリアフリー対策も考えられています。

## もくじ

地域の始まり物語 白石編 .....	1
表紙の声／コラム .....	2
新年のご挨拶 公益社団法人東法人会 藤井会長 .....	3
新年のご挨拶 札幌東税務署 杉本署長 .....	4
セミナー・研修会／予定・報告 .....	5
活動報告 .....	6
大会等の報告・税務関連行事報告 .....	7

## 開拓当時は野生動物の楽園だった白石 今では標本でしか見られないエゾオオカミ

開拓が始まったばかりの明治初期の白石は原生林や荒地で、ヒグマやエゾオオカミ、エゾシカが主役の時代だった。無数にいたエゾシカは大雪による食糧難と作物の害獣駆除で絶滅寸前になった。鹿を主な餌にしていたエゾオオカミは馬を襲うようになったため毒殺され、明治22年頃に絶滅した。現存する貴重なエゾオオカミの標本が北海道大学付属植物園内の博物館に展示されている。明治10年(博物館の看板では12年)に、札幌市白石区1条3丁目付近(現在、池田食品

のある場所)で昼寝していたエゾオオカミが村人に撃ち取られた個体である。エゾオオカミは、かつて北海道に生息していたタイリクオオカミの亜種で、樺太や千島列島にも生息していたといわれる。古来からアイヌの人々とは共存しており、「狩りをする神(ホロケウカムイ)」「吠える神(ウオセカムイ)」「鹿を獲る神(ユクコカムイ)」と呼ばれ崇められてい



剥製となったエゾオオカミの捕獲場所／札幌市白石区中央1-3

た。明治時代から減少し、現在では絶滅したとされる。群れを形成し、主にエゾシカを捕獲しており、エゾオオカミの絶滅が、現在のエゾシカ激増の一因ともいわれている。



安斉真陸さんが仕留めたエゾオオカミの雄(右)と豊平で仕留められた雄(左)  
資料・引用元／札幌市白石区刊行物他

## 札幌東法人会事務局が移転しました。

新住所／004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4番35-806  
新電話番号／TEL 011-802-6744 FAX 011-802-6745

健全な経営  
正しい納税  
社会に貢献



札幌東法人会の公益事業

- ・ 税知識の普及・納税意識の高揚・税の提言に関する事業
- ・ 地域企業の健全な発展に資する事業
- ・ 地域社会への貢献を目的とする事業



# 新年のご挨拶

公益社団法人  
札幌東法人会  
会長 藤井幸一



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、平成29年の輝かしい新年をご健勝で迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より札幌東法人会も活動に対しましてご支援ご協力をいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

当法人会は、東税務署管内であります白石区・厚別区・江別市の二区一市をエリアとして地域の会員の皆様とともに活動しております。

この度、会員企業の皆様とともにより地域に密着した活動の環境を整えるために、中央区にありました事務局を当会の担当エリアであります厚別区に移転させました。

当会の活動については会員相互の親睦や交流はもとより、公益社団法人として「税の啓蒙」「経営支援」「地域貢献」の三本の柱を立てております。

これにつきましては、従来からの太い柱であります税の啓蒙活動に主軸を置きながらも、会員企業の一助となるような経営支援や、地域活

性化の一助となる地域貢献についてもより充実した活動を目指していく所存でございます。

また内部的にも次年度に役員改選期を控え、事前の準備作業として法人会のあるべき姿を求めながら、組織体制の見直しや若手人材の活用方策など、活動の活性化に向けた検討を進めております。

さらには、会の活動を支える事務局体制や運営方法の見直しも進め、会員企業の経営の活性化や地域活性化の一助となるような体制づくりに向けて鋭意検討を進めているところでございます。

経済環境に目を向けますと、企業全体の90%以上を占める中小企業にとっては、まだまだ厳しい状態が続くことと推察します。

このような状況の中において、法人会としては地域の担い手である会員企業の活性化に向けて、その役割をしっかりと自覚しながら活動していきたいと考えております。

昨年10月に長崎で開催された法

人会の全国大会において、平成29年度へ向けての税制改正要望が決議されました。

この中で、スローガンとして「経済の再生と財政健全化を目指し、歳出・歳入の一体的改革」「適正な負担と給付の重点化・効率化で、持続可能な社会保障制度の確立」「中小企業の重要性を認識し、活性化に資する税制措置の拡充」「中小企業にとって重要な課題である事業承継の本格的な税制の創設」という4本の柱を立てております。

とりわけ道内の中小企業にとっては厳しい経済環境が続くものと思われます。扶養控除や事業承継等の課題も重要な意味を持ちます。そのことから中小企業に対する速やかな税制改正を強く望むところです。

税務当局をはじめ友誼団体の皆様、会員の皆様におかれましては、今後ともご支援ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝と企業の活性化を祈念して新年のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

札幌東税務  
署長 杉本真也



新年あけましておめでとうございます。

平成29年の新年を迎え、公益社団法人札幌東法人会の会員の皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

藤井会長様をはじめ、役員並びに会員の皆様方には、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

札幌東法人会におかれましては、「よき経営者を目指すものの団体」・「健全な納税者の団体」として、税知識の普及や納税意識の高揚を図るための様々な活動を熱心に展開してこられました。

特に、「租税教室」や「絵はがきコンクール」などの租税教育活動に活発に取り組まれるほか、地域に密着した社会貢献活動にも力を入れておられます。

また、自主点検チェックシートを

活用した取り組みは、企業の健全な成長と適正な申告に大きく寄与するものであり、国税庁として後援させていただいております。

このような法人会の活動は、申告納税制度の下における税務行政の円滑な運営に欠くことのできない大きな役割を果たしているものであり、会員の皆様方のご尽力に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

さて、経済活動の国際化、高度情報化の進展など、税務行政を取り巻く環境が大きく変化する中、私どももといたしましては、国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ため、国民の皆様からのご理解と信頼のもと、業務の効率化と高度化を進め、より質の高い税務行政の実現に向けた取り組みを行っているところです。

中でも、マイナンバー制度の円滑な定着や、e-Taxの更なる利用拡大などは、私どもの力だけでは十分に

果たせるものではなく、永年にわたり連携と協調関係を培ってまいりました法人会の皆様の変わらぬお力添えが必要不可欠であります。

法人会の皆様には、税務行政の良き理解者として、今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、札幌東法人会の益々のご発展と、役員並びに会員の皆様のご健勝と会員企業のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## セミナー／説明会／研修会の開催予定

### ■平成28年度 札幌東法人会 主催 税務研修会 開催予定

分野	開催日	研修内容	講師	開催時間	会場
無料	2月9日 木曜日	法人税決算説明会	札幌東税務署担当官	13:30～16:30	北海道経済センター 8階Bホール／3号
無料	3月23日 木曜日	新設法人税務研修会	札幌東税務署担当官	13:30～16:30	北海道経済センター 8階Bホール／3号

### ■平成28年度 札幌5法人会 主催 セミナー 開催予定 受講料：会員 3,000円／非会員 5,000円

分野	開催日	研修内容	講師	開催時間	会場
税務対策	1月24日 火曜日	専門家しか知らない 税務処理と調査事例	税理士法人日本会計グループ 松倉 一久 氏	13:30～15:30	北海道経済センター 8階Bホール
労務保険 実務	2月21日 火曜日	社会保険と労働保険の 実務とポイント	(株)フューチャータクティクス 園部 美喜春 氏	10:00～16:00	北海道経済センター 8階Bホール
社員教育	3月16日 木曜日	ビジネスマナーの基本と 顧客を夢中にさせる接客術	グレイスマナーズインターナショナル 佐藤 あけみ 氏	10:00～16:00	北海道経済センター 8階Bホール

会員の皆様には、無料受講券をお送りしておりますが、追加が必要な方は札幌東法人会事務局までご連絡ください。

## セミナー報告

### 9月27日(火) 法人税 決算説明会

講師：札幌東税務署  
上席国税調査官 林 幸二 氏



全法連が監修したテキストを使いながら会社の決算・申告の実務や源泉所得税の実務のポイントなどを専門家の立場から分かりやすく解説。自主点検チェックシートについても活用方法を説明し有意義な場となった。

### 10月6日(木) 新設法人 税務研修会

講師：札幌東税務署  
上席国税調査官 林 幸二 氏



新たに会社を設立した経営者に対して、適正な納税を行うための支援として、全法連監修の「新設法人のための会社の税金ガイドブック」を使いながら、法人税の基本的な仕組みについて、主要な項目ごとに分かりやすく解説。

### 10月18日(火) 売掛金回収 プロの極意

講師 森 真一 氏／  
(株)ヒューマンパワー・リサーチ



プロミス(株)の回収専門部署で18ヶ月連続個人回収トップの実績を持つ講師が、具体的な事例に基づいた解説を通して、債権回収の悩みや心構え、危ない会社の見分け方など、プロの極意を惜しみなく披露。

### 11月17日(木) 年末調整説明会

講師：  
札幌東税務署 統括国税調査官  
榎田 勝 氏  
札幌市中央市税事務所 市税課  
佐藤 晴美 氏



午前と午後の2回開催で約200名が受講。年末調整の実務について、実際の申告書類を使用しながら、国税庁作成の「年末調整のしかた」に沿って分かりやすく解説。会場入口には、申告に必要な書類が勢揃い。

## \* 情報データ消失のリスクマネジメントしてますか？

昨年も地震による火災や建物の倒壊、台風による水害、土砂崩れ、道路の陥没による地域一帯の停電など、様々な災害がおこりました。その後の復旧に並々ならない苦労をされた被災企業やお店もたくさんありました。日頃から事業用の重要データを、複数コピーして自宅に持ち帰るなど、リスク管理をしていた方々がほとんどでしょうが、会社も自宅も

同時に被災し、データの全てをなくした方も少なくはありません。「リスクマネジメント」や「危機管理」と言う言葉はよく耳にしますが、その違いをあらためて認識したい昨今。リスクマネジメントは「危機管理に関する対策全般」。つまり危機管理だけでなく、事前対策を含めたリスクマネジメントの実施が重要なのです。「不測の事態」に備え、担当者まかせではなく、

何がおきても大丈夫な対策を複数施しておく事が大切。もちろん機械の故障や人為的ミスの場合も多いのです。トップはセキュリティの面も考えながら企業情報管理の義務と責任があるのです。ネット上の信頼度の高い、契約クラウドサーバーや、データセンターなどに常にバックアップしながら、さらに手元のメディアにもコピーしておくなど、充分な対策を。

# 活動報告

## 税の絵はがきコンクール 作品展&表彰式 10月9日(日) 会場：チ・カ・ホ (札幌駅前通地下広場) 作品展示 11月1日(火)～30日(水) 会場：札幌東税務署 1階ロビー



札幌東税務署ロビー



チ・カ・ホでの表彰式

### 作品展&表彰式

札幌五法人会による作品展と表彰式が札幌駅前地下歩行空空間で行われ、今回受賞した札幌市内の小学生が集まり、通行中の一般市民の方々にも子供たちの素晴らしい「税の絵はがき作品」を見ていただくことができた。表彰式では、道法連女連協の中村会長をはじめとして、札幌北税務署長や各会の女性部会長が表彰状を授与した。

### 学校訪問表彰式

白石区、厚別区、江別市の各学校を訪問し、優秀賞・佳作・努力賞を多くの児童に授与し、それぞれに記念撮影を行った。



11月4日 / 札幌市立本通小学校



11月7日 / 札幌市立川北小学校



11月10日 / 札幌市立東白石小学校



11月14日 / 札幌市立北白石小学校



11月18日 / 札幌市立小野幌小学校



11月21日 / 江別市立中央小学校



12月16日 / 札幌市立南白石小学校

Now printing

## 札幌五法人会女性部会 検討会 11月2日(水) 会場：札幌パークホテル 3F 高砂

来年度からの共同事業の検討会  
 札幌五法人会の女性部会役員が一堂に会し、活発な議論を展開。  
 今回は初めての試みとして、各テーブルに各法人会の役員が分散して席に着き、互いの活動状況の報告や来年度の共同事業へ向けた議論が行われた。



### 次第

1. 公益事業について
2. 女性部会のあり方について
3. 絵はがきコンクールについての意見交換
4. 今後の新規事業および研修会について
5. 各テーブル討論の結果報告



## 行事予定

1月13日(金) 16:30 平成28年度 第3回 理事会  
 18:00 理事会終了後 新年交礼会  
 ホテルエミシア札幌 3階「パレスホール」  
 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目5-25  
 詳しくは、折り込み案内を参照してください。

2月11日(土) 14:00 会員交流麻雀大会 / アサヒビール園

### 租税教室開催予定

12月 9日(金) / 札幌市立川北小学校

12月16日(金) / 札幌市立南白石小学校

12月19日(月) / 札幌市立南郷小学校・江別市立大麻東小学校

1月20日(金) / 札幌市立本通小学校

1月25日(水) / 江別市立江別第一小学校

1月26日(木) / 江別市立大麻東小学校・札幌市立東川下小学校

# 大会参加報告

**第30回 法人会  
全国青年の集い北海道大会  
旭川大会 9月8日(木)・9日(金)**  
メイン会場：旭川大雪アリーナ

全国から2,600名余りの青年部会員が一堂に会し、過去最大の大会となった。一方で北海道内の青年部会員も600名余りと過去最大の規模でお迎えすることとなった。物産展には、当会から池田食品の「こつまみ食品」が出店し人気を博した。



▲大会長/北海道法人会連合会青年部会連絡協議会 会長 中井 靖 氏



**第53回 北海道法人会  
税制改正提言全道大会  
函館大会 9月29日(木)**  
会場：函館市民会館・函館アリーナ



式典では、税制改正要望を決議し、特別講演会には、コアレポート編集長の辺真一氏を迎えて、日本を取り巻く国際情勢について語っていただいた。

**第17回 北海道法人会  
女性部会全道大会  
小樽大会 10月14日(金)**  
会場：小樽市民マリンホール

式典では大会長の道法連女性部会連絡協議会の中村法子会長のごあいさつに始まり、表彰式などが行われた。また来年度の大会会場となる釧路の皆さんが勢揃いして参加を呼び掛けた。



終始活気にあふれる女性部会員のみなさんでした。

**第33回 法人会  
全国大会  
長崎大会 10月20日(木)**  
会場：長崎ブリックホール

長崎総合大学教授のプライアン・パークガフ二氏による「地方が生き残るために」と題した講演会で始まり、式典では税制改正提言の報告や租税教育活動の報告が行われ、大会宣言を持って閉会となった。



## 税務関連行事報告

**「平成29年税制改正に関する提言」を  
衆議院義委員和田義明氏へ  
11月23日(水) 札幌パークホテル 4F 有明**

北海道5区選出の和田義明衆議院議員に対して、和田氏の後援会長でもある当会の藤井幸一会長より平成29年税制改正要望を実施しました。和田議員は多忙なスケジュールの中、30分間にわたり藤井会長からの要望内容に耳を傾け、その後、意見交換を行った。



### 来年度の大会予定

- 4月 7日/第11回 法人会  
全国女性フォーラム/鹿児島大会
- 6月23日/第26回 北海道法人会  
全道青年の集い/帯広大会
- 9月29日/第54回 北海道法人会  
税制改正提言全道大会/北見大会
- 10月 5日/第34回 法人会  
全国大会/福井大会
- 10月20日/第18回 北海道法人会  
女性部会全道大会/釧路大会
- 11月10日/第31回 法人会  
全国青年の集い/高知大会

### 税を考える週間行事報告 11月11日(金)~17日(木)

11月11日(金)

**札幌国税局長講演  
消費税期限内完納推進宣言  
中学生税の作文朗読会**

会場：札幌プリンスホテル・  
国際館パミール

北海道税務関係団体連絡協議会主催による「税を考える週間」協賛行事として、札幌国税局長による講演会と中学生による税の作文の朗読会が行われた。税に関して向き合う充実した時間となった。

講演と中学生の税についての作文朗読会



11月11日(金) 税を考えるクイズ大会

札幌東法人会江別支部・江別青色申告会・札幌東関税会江別支部・北海道税理士会札幌東支部4団体合同主催  
江別市コミュニティセンター 多目的ホール「税を考えるクイズ大会」が開催された。常識的な問題をはじめ、難問奇問を含め30問を満点クリアすることはプロでも至難の業であった。



11月15日(火)

**札幌東税務署 納税表彰式  
当会理事・支部長  
伊藤 豊氏が受賞**

会場：アークシティホテル  
5階アークホール

団体の活動を通じて納税意識の高揚に功績のあった方々3名が杉本真也署長より、納税表彰を受けられた。